

児童虐待は社会全体でかかわり、 解決していくべき問題です。

児童虐待による死亡事例は年間70件※を超えています。

※子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第17次報告)

年間70件以上、

単純計算すると…5日間に1人の子どもが

命を落としていることとなります



児童虐待とは

• 身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など

• ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

• 性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

• 心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(面前DV) など

子どもとの関わり方の工夫

point
01

子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう

point
02

「言うことを聞かない」にもいろいろあります

point
03

子どもの成長・発達によっても異なることがあります

point
04

子どもの状況に応じて、身の周りの環境を整えてみましょう

point
05

注意の方向を変えたり、子どものやる気に働きかけてみましょう

point
06

肯定文でわかりやすく、時には一緒に、お手本に

point
07

良いこと、できていることを具体的に褒めましょう

point
08

保護者自身の工夫のポイント

- 1 ▶ 子育てをしているとストレスが溜まることもあります。否定的な感情が生じたときは、まずはそういう気持ちに気づき、認めることが大切です。
- 2 ▶ 自分の時間や心に余裕がないときは、深呼吸して気持ちを落ち着けたり、ゆっくり5秒数えたり、窓を開けて風にあたって気分転換しましょう。
- 3 ▶ 周囲の力を借りると解決することもあります。勇気をもってSOSを出すことで、まだ気付いていない支援やサービスに出会えたりします。



子どもや保護者のこんなサインを見落としていませんか？

子どもについて

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- 不自然な傷や打撲のあとがある
- 衣類やからだがいいつも汚れている
- 表情が乏しい、活気がない
- 夜遅くまで一人で遊んでいる

保護者について

- 地域などと交流が少なく孤立している
- 小さい子どもを家においたまま外出している
- 子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- 子どものけがについて不自然な説明をする



児童虐待かも…と思ったら

ご自身が出産や子育てに悩んだら…

子育てに悩む人がいたら…

表面の児童相談所

虐待対応ダイヤル

相談専用ダイヤル

に、お電話ください

